

2020年7月30日

各位

会社名 SREホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西山 和良
 (コード番号: 2980 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員 CFO 兼コーポレート本部長 益子 治
 (Tel. 03-6274-6550)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月19日に開示した2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の連結業績予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

(1) 2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,266	49	51	33	2.21
今回修正予想(B)	2,400	200	204	113	7.47
増減額(B-A)	134	151	153	80	
増減率(%)	5.9	308.2	300.0	242.4	
(ご参考) 前期実績	1,389	260	263	168	12.25

(2) 2021年3月期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,802	680	628	411	27.18
今回修正予想(B)	5,936	831	781	491	32.40
増減額(B-A)	134	151	153	80	
増減率(%)	2.3	22.2	24.4	19.5	
(ご参考) 前期実績	3,850	746	717	473	33.50

2. 修正の理由

2021年3月期第2四半期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響について、株式会社三菱総合研究所が2020年4月13日に公表した「緊急事態宣言・緊急経済対策を受けた日本経済見通し改定値」を参照し、保守的なシナリオである経済活動抑制が2020年12月末でピークアウトし、2021年1月以降に徐々に正常化するシナリオを想定した上で、業績への影響金額を可能な限り見積もっておりましたが、不動産事業の売上高減少が予想よりも小幅であり、AIクラウド&コンサルティング事業も堅調に業績が推移していることから売上高が当初予想を上回ることを見込んでおります。

また、利益面においては、売上高の落ち込みが小幅だったことに加え、コストコントロールによる販売費及び一般管理費の減少により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益それぞれが増加することが見込まれるため、連結業績予想を修正いたします。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響とその程度や見通しについては依然として不透明な状況が続いておりますが、第2四半期連結業績予想を修正したことに伴い、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても当初予想を上回ることが見込まれるため、連結業績予想を修正いたします。

(業績等の予想に関する注記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上